

ロングライフはローコスト「MOKU(モク)キューブ」新発売

山根木材株式会社(本社:広島市南区、代表取締役:山根恒弘)は、長期優良住宅に求められる基本性能「耐震性・耐久性・環境性」を向上させた住宅、MOKU(モク)キューブを4月25日に新発売します。

MOKU キューブの家では耐震・耐久性向上として、3m×3m×3mの立方体の設計基本単位を組み合わせず丈夫な構造体を採用しました。この丈夫な構造体が建物の耐久性にも繋がります。また室内の構造体は表し、目で見て傷みが分かるデザインを採用しています。環境性向上については、主要構造材の約80%は国産材を用いて建設しました。これにより国内山林の活性化や木材のCO2吸収効果の向上に貢献します。MOKU キューブの家は、何世代にもわたり受け継いでいく資産価値の高い長期住宅でありながら、長期にわたる維持管理コストを抑えることができるコストパフォーマンスの高い「ロングライフはローコスト」な住まいです。

<商品概要>

商品名 MOKU キューブ(モクキューブ)

発売日 平成21年4月25日

商品の公開 広島市安佐南区こころニュータウン第9期住宅展

構造 木造軸組工法

間取り 3m×3m×3mを基準とした自由設計

<商品特徴>

1. キューブ(立方体)で構成する家

- ・住宅の重さとして上から下へかかる力(鉛直荷重)や地震や風などにより横に加わる力(水平荷重)をもっともスムーズかつ均一に梁→柱・壁→土台→基礎→地盤に伝えへる安全な木組みとした。
- ・仕口(木と木の接合)を引寄せ金物で接合強度を高め地震に強い木組みとした。

2. 生活スタイルの変化に対応できる間取り

- ・現在の間取りは若い家族世代の家、そして子育てが終れば終の棲家へと変化する間取り。
- ・空間は建具などで極力仕切らず自由度の高い空間としている。
- ・屋根には太陽光パネルを今後設置できるよう南面を大屋根デザインとした。

3. 住宅価値を下げない住宅管理ができる

- ・構造体が目で見てわかる管理しやすいデザイン。
- ・新築時の設計図書や住宅点検の結果を施主様と当社にてインターネットによる住宅履歴管理システム「SMILE ASP」を使い一元管理し、客観的な建物評価が可能となります。

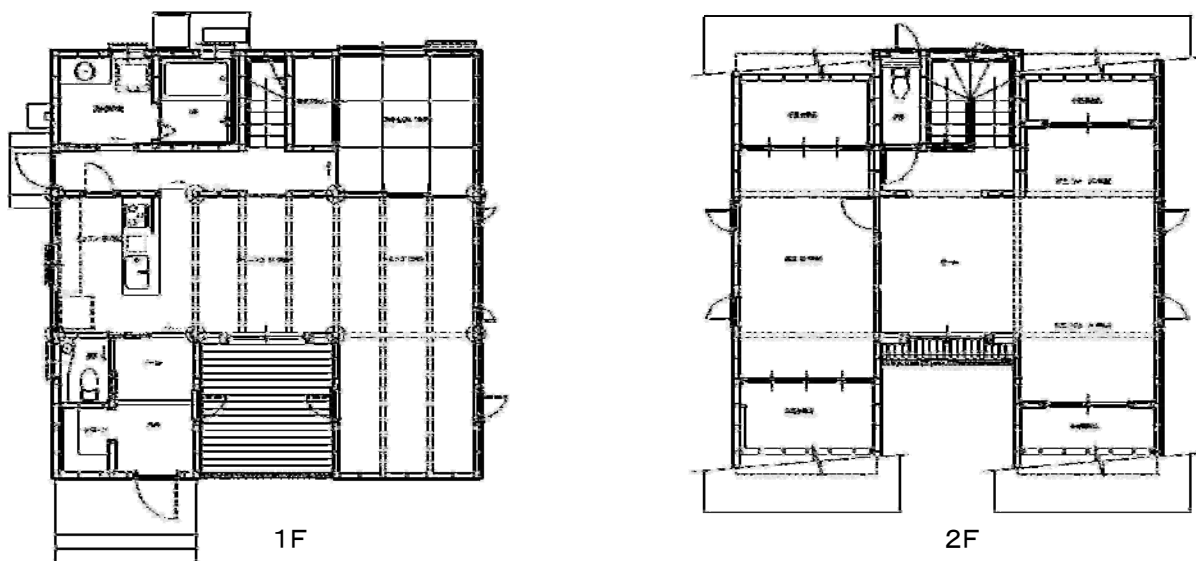
4. 国産材でつくる家

- ・主要構造材に国内の杉と桧を使用し、国産材構成比を 80%とした。 ころ 9 期建設モデルにおける MOKU キューブの家の CO2 蓄積量は約13t です。

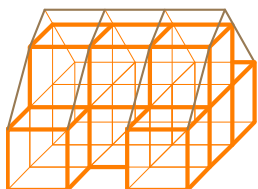
5. 高品質な家を 55 日の短工期で実現

- ・立方体のムダのない構造により主要構造部材数を少なくし、さらにプレカット工場化率を上げることで現場作業を削減して上棟後 35 日完成を実現。 (* 建物状況により工期は異なります)
- ・現場作業を減らす合理化を進めることが建物コストダウンも実現できます。

<間取り図>



<写真>



構造体概念図



イメージパース



1F



2F

写真撮影日: 4.10

<本リリースにおいてのお問合せは>

山根木材(株)経営企画室 担当: 縄稚(ナワチ) TEL:082-254-3207